

県南振興局庁舎建設工事に係る設計業務

実施設計書 概要版

令和6年1月

1. 計画概要

1-1 敷地概要

所在地	長崎県諫早市永昌東町
敷地面積	6,100.00 m ²
都市計画	近隣商業地域
防火地域	指定なし、法22条区域
地区計画・建築協定等	地区計画により床面積 10,000 m ² を超える大規模集客施設等の制限あり 本計画は非該当
下水道処理区域	公共下水道
周辺道路	東側：諫早市道 永昌東栄田線 幅員 10~12m 北側：諫早市道 永昌東栄田線（高低差あり、進入不可）幅員 12m 西側：諫早市道 幅員 6m
許容建蔽率	80%（上限 4,880 m ² ）
許容容積率	300%（上限 18,300 m ² ）

1-2 建築概要

用途	庁舎
建築面積	3,979.22 m ² （庁舎 2,001.44 m ² ）（65.23%）
延べ床面積	14,347.63 m ² （附帯建物も含む） （庁舎 12,391.86 m ² 立体駐車場 1,925.77 m ² ゴミ庫 30 m ² ） 容積対象面積：11,258.44 m ² （184.56%）
庁舎 1階床面積	1,713.71 m ² （庁舎 720.18 m ² 、ピロティ駐車場 993.53 m ² ）
2階床面積	1,803.07 m ²
基準階（3~7階）床面積	1,729.99 m ²
8階床面積	225.13 m ²
階数	地下なし、地上8階
構造	鉄筋コンクリート造、免震構造
耐火建築物	耐火建築物
建物高さ	最高高さ：34.600m、最高軒高 33.800m
駐車場	合計 180台 （来庁者用 93台、公用車 72台、職員用駐車場 15台）

1-3 事業スケジュール

区分/年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(2026年度)
振興局の設計	●-----● 基本・実施設計				
建設工事			●-----● 工事発注	●-----● 建設工事	

1-4 外観・内観イメージ



鳥瞰イメージ



南東側外観イメージ



北西側外観イメージ

周辺の景観と調和するとともに、県南地域のシンボルとして長く時を重ねていく施設としていくため、全方位からの視線を考慮した庁舎、周辺環境と調和する色彩計画、サービスバルコニーをもつ維持管理しやすい施設を特徴とする外観デザインとします。



2階内観イメージ

全ての方が利用しやすくあたたかみのある内部空間とします。特に多くの方が利用するロビーや多目的エリアは明るく開放的な空間とするとともに、県産材の木材を内装に活用することであたたかみのある内部空間とします。

2. 建築計画

2-1 配置計画

「東西軸の庁舎と1層2段の自走式駐車場による配置計画」

敷地北側にある特別支援学校側への日影の影響に配慮し、庁舎を南側に配置し、平屋（1層2段）の立体駐車場を北側に配置します。庁舎は東西方向に長い平面形状とし、かつ、駐車場を低く抑えることで、執務空間に安定した自然採光・自然換気が確保できる計画とします。

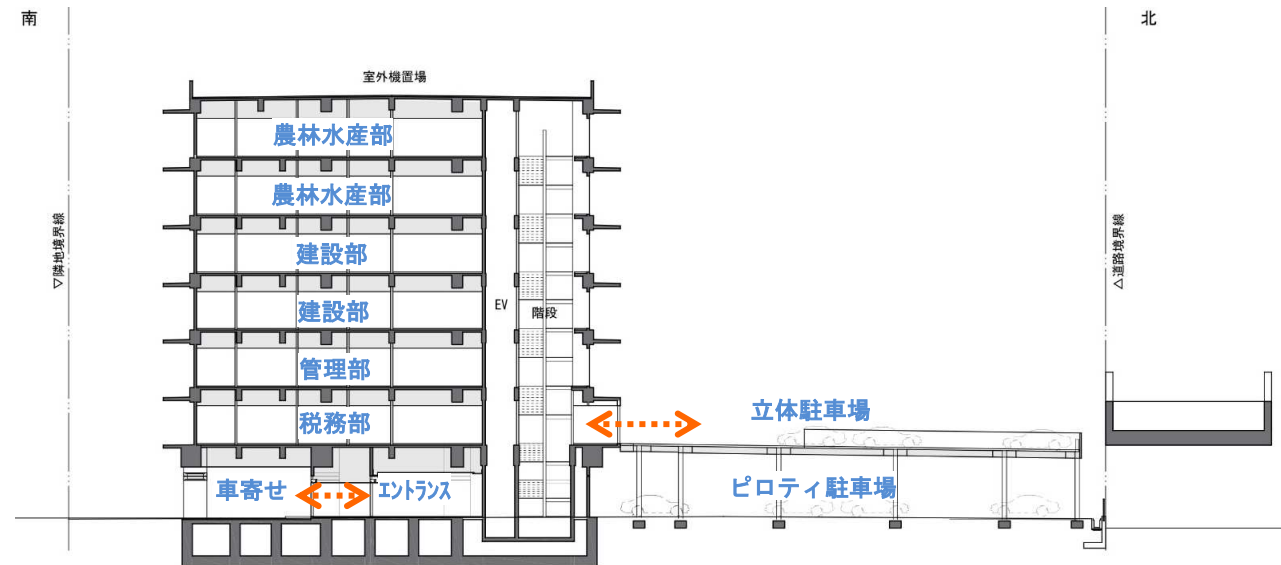


2-2 断面計画

「8階建、東西軸の庁舎構成」

庁舎はコンパクトな平面形とし、各階が連携しやすい8階建てとします。1階に配置する機能を最小限とし、主要機能は2階以上に配置し、防災拠点として業務継続可能な計画とします。

■明快な断面構成



2-3 立面計画

「周辺環境と調和する計画」

諫早石をイメージした温かみのある色調と、島原城や玖島城跡の軒のある形状と漆喰をイメージした白を組み合わせ、地域の要素を取り入れた計画とします。

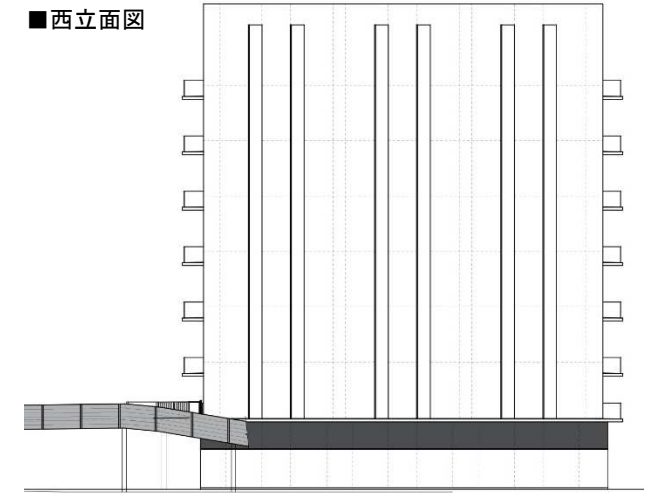
■南立面図



■東立面図



■西立面図



■北立面図



2-4 平面計画

(1) 1階

庁舎棟東側にエントランス機能、西側に職員関連諸室を集約して配置します。1階に配置する機能は最小限とし、プロティ空間は駐車場に活用します。



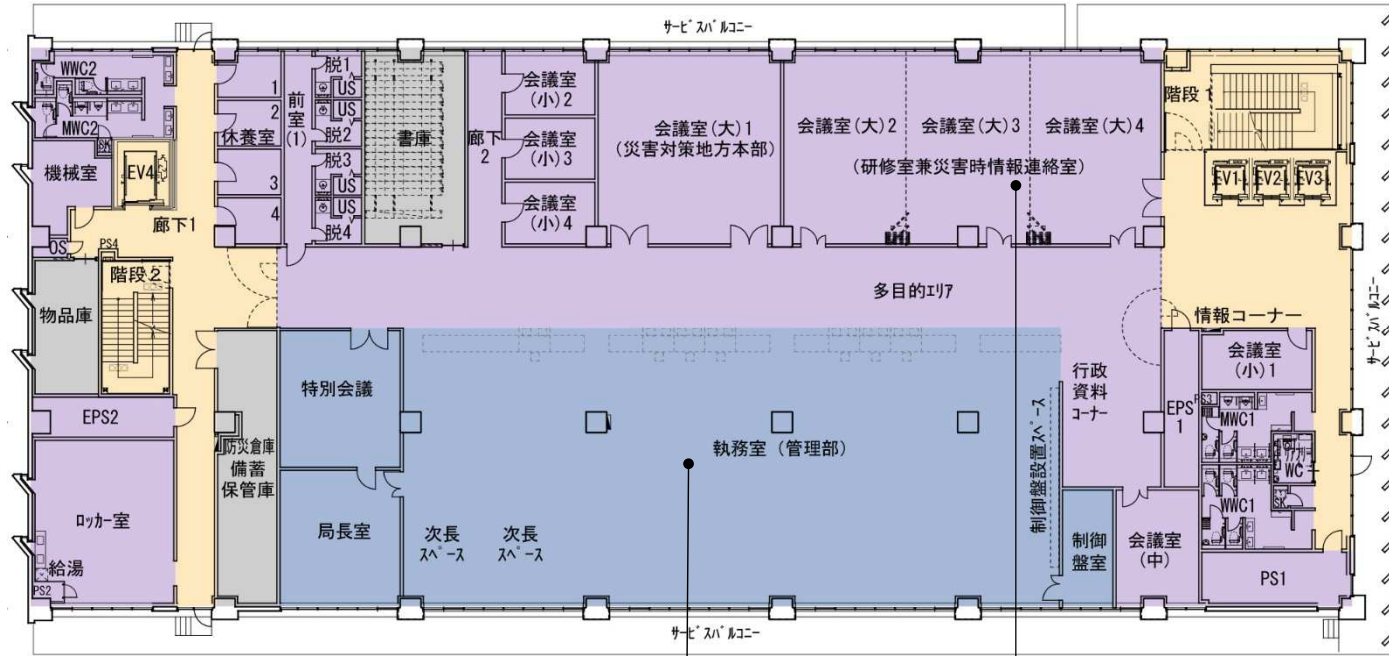
(2) 2階

県民利用が多い税務部門を2階に配置します。立体駐車場の2階部分に来庁者駐車場を設け、直接、庁舎棟にアクセスできる計画とします。



(3) 3階

3階は管理部エリアとし、災害対策機能を集約して配置します。

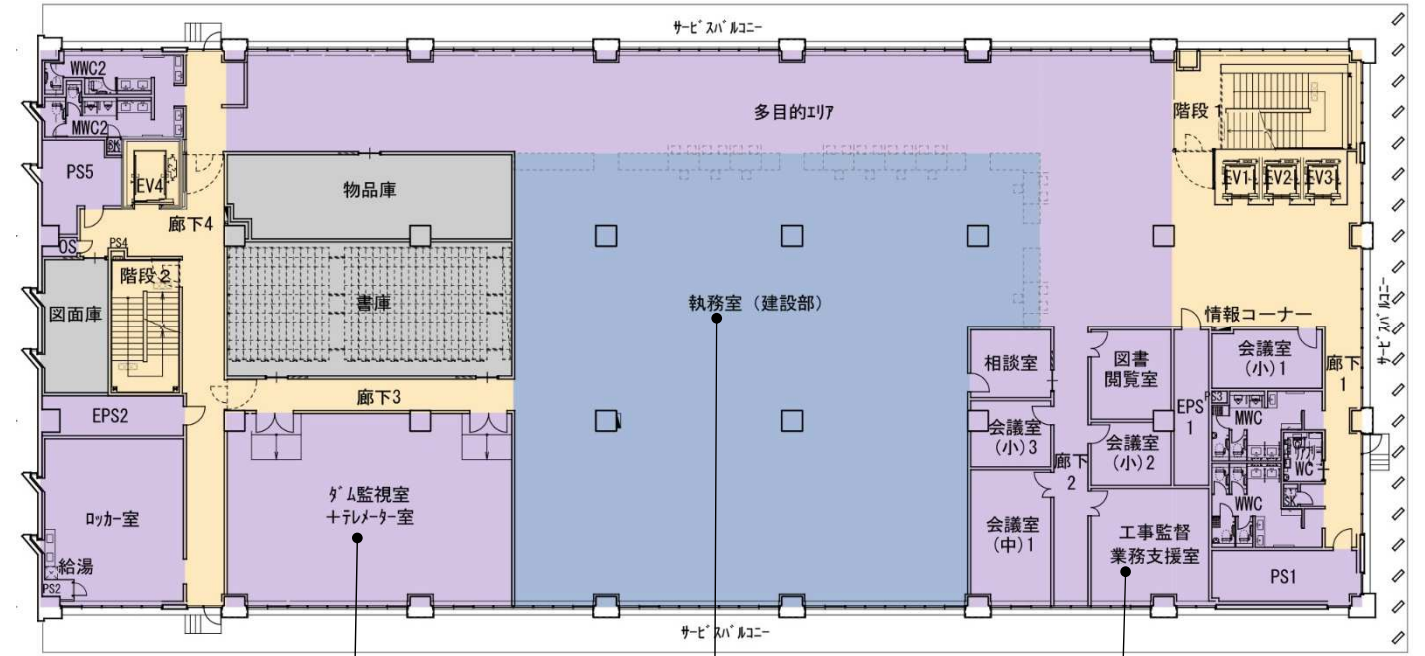


3階（管理部）：
管理部の執務室を集約配置し
連携を強化

3階北側：
災害時に災害対策地方本部
や情報連絡室として使える
大会議室を北側に集約配置

(5) 5階

5階は建設部エリアとし、ダム監視室+テレメーター室を配置します。



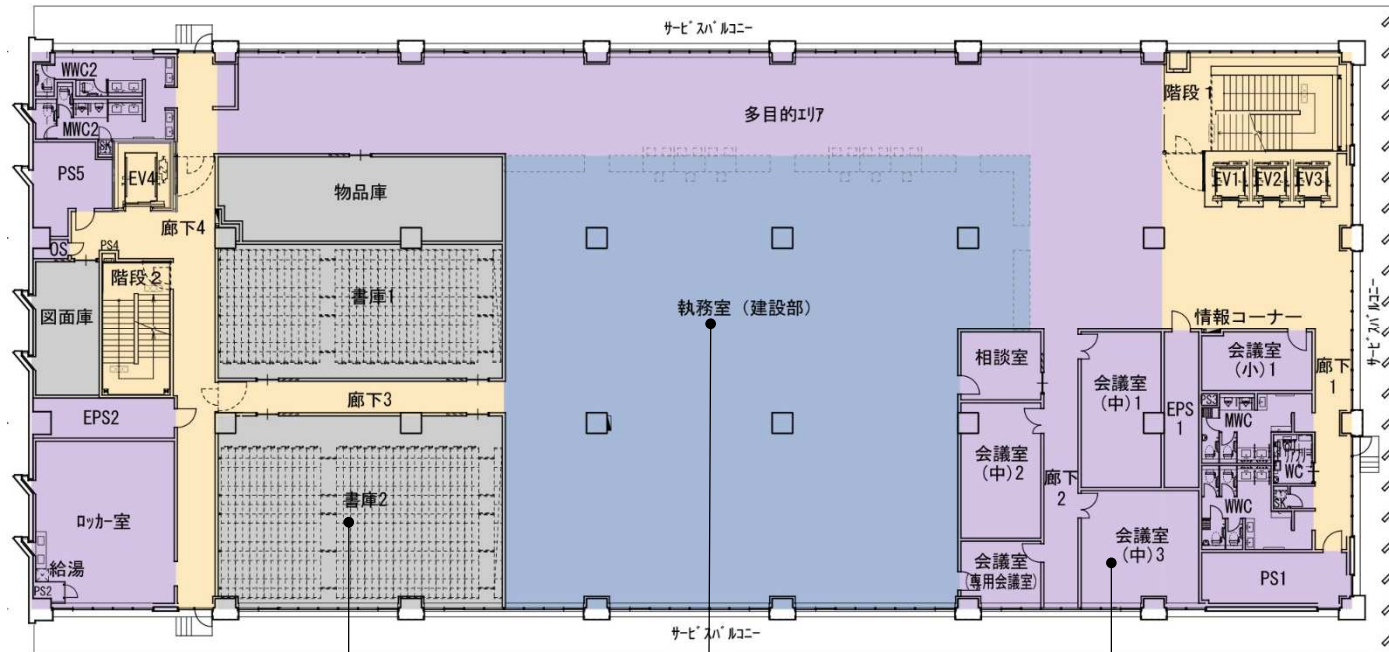
ダム監視室+
テレメーター室：
執務室近傍に配置

執務室（建設部）：
中央にまとまった執
務室を配置し、業務の
効率性を確保

各種会議室：
共用部に近い位置に
会議室、相談室を集約
して配置

(4) 4階

4階から7階は東西に階段、トイレ等のコアを配置し、中央にまとまった執務空間を配置することで、将来のレイアウト変更に対応しやすい計画とします。建設部エリアを4、5階に集約して配置します。



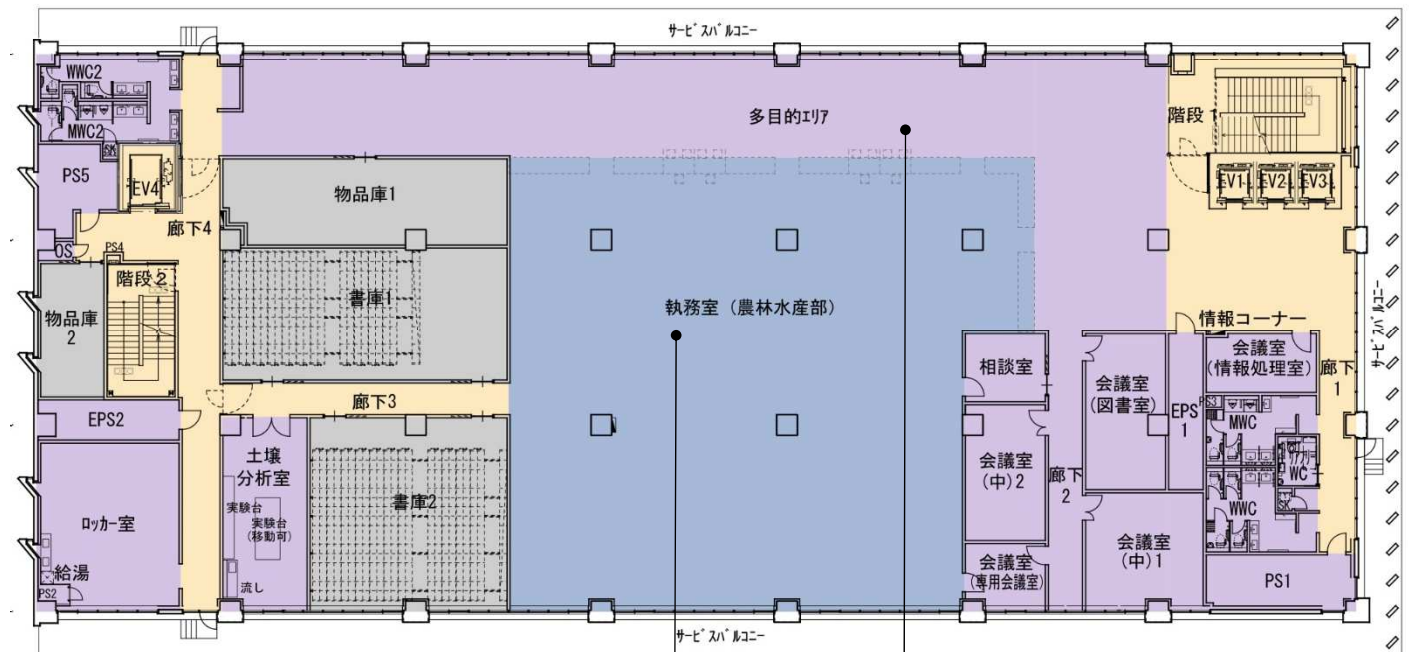
重荷重ゾーン：
西側に書庫等の重
荷重ゾーンを配置

執務室（建設部）：
中央にまとまった執
務室を配置し、業務の
効率性を確保

各種会議室：
共用部に近い位置に
会議室、相談室を集約
して配置

(6) 6階

農林水産部エリアを6、7階に集約して配置します。

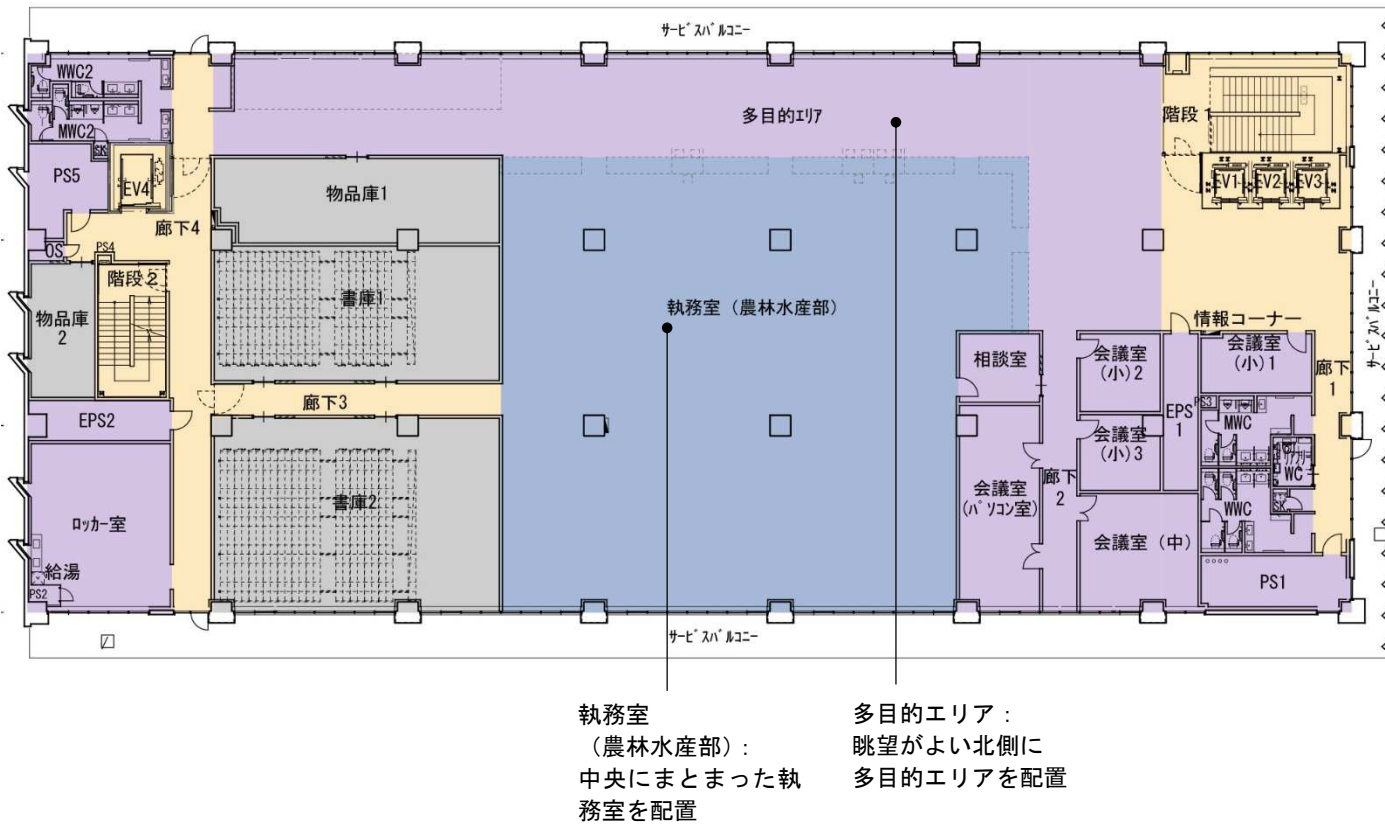


執務室
（農林水産部）：
中央にまとまった執
務室を配置

多目的エリア：
眺望がよい北側に
多目的エリアを配置

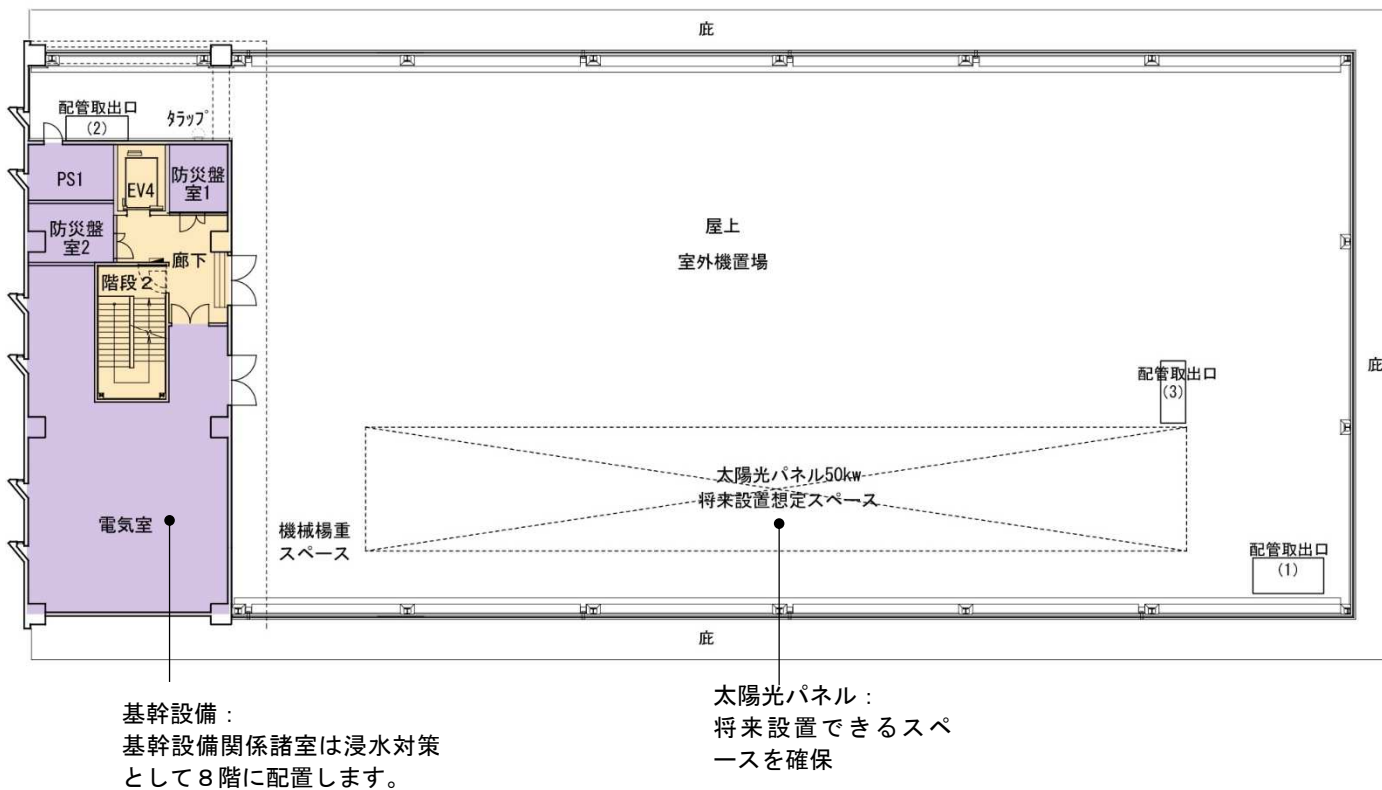
(7) 7階 (基準階)

7階は農林水産部エリアとします。



(8) 8階

電気や空調、防災関連等の基幹設備関係諸室を浸水対策として8階に配置します。



2-5 防災計画

「防災拠点としての事業継続性（BCP）の確保」

長崎県においては、災害時に各庁舎の求める機能として、県本庁舎を災害対策本部、県南振興局は地方本部の位置付けとされています。新庁舎は、県本庁舎を補完する災害対策機能を備え、災害時に行政機能を継続できるBCP計画を行います。

耐震安全性の目標を定めた「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に示されている「構造体：Ⅱ類、建築非構造部材：A類、建築設備：甲類」とします。また、構造形式は建物機能の維持・建物の更新性に優れた「免震構造」とします。

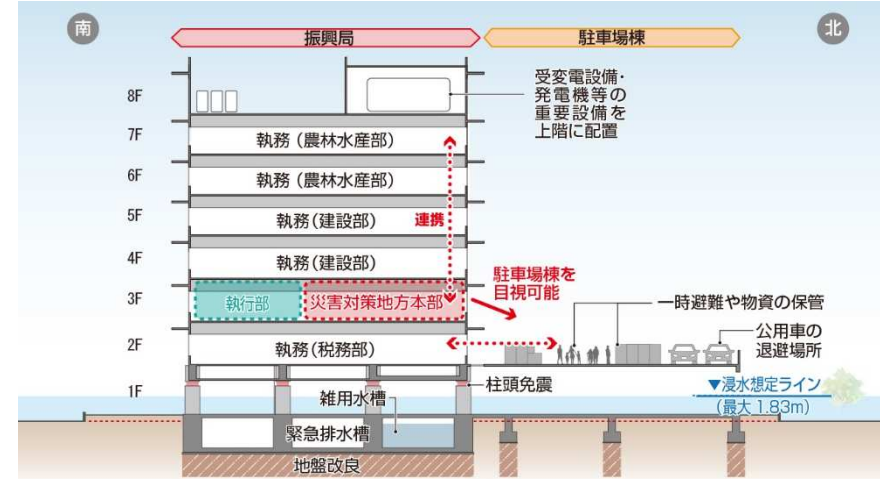
具体的な方針については、以下を確保します。

- ① **災害対策地方本部**：災害時の県民の安心安全確保のため、管理部と同一階に災害対策地方本部が設置できる配置とします。災害対策地方本部は各部門と連携しやすく、駐車場棟を目視可能な3階の北側に配置します。
- ② **防災設備**：発電機を設置し、3日分の燃料を備蓄し、燃料補給することで7日間連続運転できる計画とします。受水槽は容量設定により、4日間の給水機能を確保します。
- ③ **水害対策**：1階に配置する機能を最小限とし、1階柱頭部に免震装置を配置した柱頭免震構造とするとともに、主要機能を浸水想定ラインよりも上に計画して、庁舎機能の維持を図ります。

■耐震安全性の目標

	新庁舎	立体駐車場 スロープ
構造体	Ⅱ類	Ⅲ類
建築 非構造 部材	A類	B類
建築 設備	甲類	乙類

■防災に配慮した断面計画イメージ



■計画条件

- ・想定される災害状況：一次災害として地震、水害、二次災害として停電・上下水断水が発生した場合
- ・継続時間（機能維持）：7日間（168時間）
- ・対象人員：300人（職員数500人の6割）

インフラ	本計画における対応	
電力	発電機	非常用発電機（72時間分燃料備蓄、燃料補給で7日間運転）
上水道	給水ポンプ	非常電源を供給し、稼働
	飲料水	4日分の上水を受水槽で備蓄
	雑用水	ピットの雑用水（市水+雨水を想定）の給水を稼働し、トイレの洗浄水として利用する。（4日分の水量を確保）
下水道	排水槽	緊急排水槽をピット階に設置（7日分）
法的負荷	非常用照明、消火設備、非常放送設備、自動火災報知設備	

被害想定
地震：雲仙断層群・南海トラフ巨大地震（Mw9.0） 想定水害：国土交通省「浸水ナビ」による計画地の浸水シミュレーション：1.83m

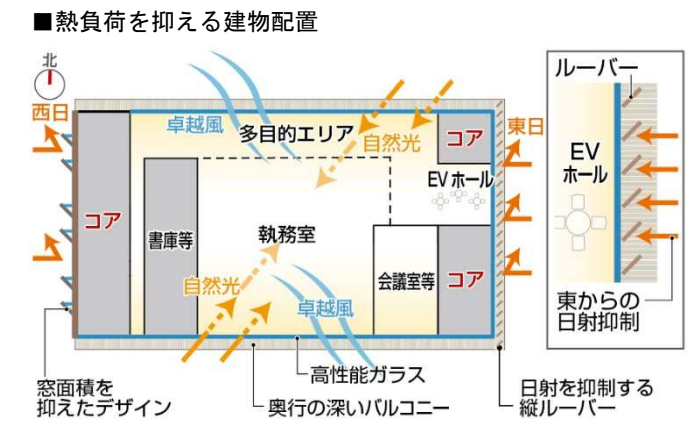
2-6 環境配慮計画

「環境負荷軽減策を取り込んだ環境配慮型庁舎」

地球環境への影響を最小限に抑えるように環境負荷軽減策を取り込んだ環境配慮型庁舎とします。カーボンニュートラルへ向けた取組みとして、日射負荷の低減・パッシブデザイン・環境配慮技術の採用により ZEB Ready を実現します。

具体的には、以下に示す考え方により設計しています。

- ① **外皮の熱負荷低減**：
 - ・建物周囲は深い庇で、夏の日差しを抑制し、熱負荷を抑えます。
 - ・西面は、コアを西側にまとめることで窓面積を抑えたデザインとし、東面は、日射遮蔽パネル（ルーバー）を設置することで、ガラス面や壁面への直射光による熱負荷を軽減します。
- ② **自然エネルギー利用**：
 - ・建物周囲の庇により、雨など天候に左右されず安定した自然通風を確保します。
 - ・南北からの自然採光を確保します。
- ③ **エネルギー利用効率化**：
 - ・各種センサー技術を活用した最適運転制御等によりエネルギー消費を削減します。
 - ・その他にも下表に示す設備系・制御系の省エネルギー手法を採用します。



■採用した省エネ手法

項目	本計画の設定（ZEB Ready達成に寄与）		
躯体・開口部	高断熱外皮・日射遮蔽	高性能断熱材（上段：屋根 下段：外壁）	押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 50mm
		高性能遮熱・断熱窓	吹付硬質ウレタンフォームA種1 30mm
		水平庇・外ルーバー	二層複層ガラス（Low-E(1) 1枚、断熱ガス、日射遮蔽型、中空層6mm）
空調設備	空調制御	高効率熱源	高効率パッケージ形空調機
		送風量制御	高COP機器の導入 冷房：4.0 暖房：4.5
		全熱交換器	室内機の自動風量調整機能
		外気冷房システム	全熱交換器（全熱交換率60%）
換気設備	高効率電動機	機器容量の削減	外気冷房あり
		送風量制御	OAコンセント負荷
照明設備	照明制御	高効率照明	12W/m2（負荷率を考慮）
		照度適正化	高効率ファン
		高効率照明器具	高効率モーター、DCモーター採用
		在室検知制御	電気室の温度制御
給湯設備	省エネ給湯	在室検知制御	機械室のみ温度制御あり。パッケージ空調はバックアップとして設定
		高効率給湯機	ファンの手動調整用インバータ
		エコキュート	手動調整用インバータあり
昇降機設備	昇降機	昼光利用照明制御	事務室の基準設定照度：500lx以上を確保
		タイムスケジュール制御	LED照明の採用
昇降機設備	昇降機	タイムスケジュール制御	在室検知制御あり（主にトイレ、書庫、倉庫）
		可変電圧可変周波数制御方式	明るさ検知制御（事務室のみ）
昇降機設備	昇降機	洗面器の自動給湯栓	あり（主に共用部）
		エコキュート	あり
昇降機設備	昇降機	電力回生あり（東側の昇降機3台のみ）	あり